

# 御幸毛織株式会社

# 『創業118年紳士服老舗メーカーのデジタル化への挑戦！』

## 『RPAによる余剰時間は新たな価値創造の時間へ充当』

### 御幸毛織株式会社 実証結果【1/5】

#### 企業概要

- 企業名  
御幸毛織株式会社
  - 社長  
吉田 直人
  - 概要
    - 本社所在地 名古屋市西区市場木町
    - 資本金 1億
    - 事業内容  
紳士服地・紳士服・関連品の製造・販売、不動産事業
    - 従業員数 287名（グループ539名）
- 沿革
- 1905年 織布・染工場建設
  - 1918年 御幸毛織株式会社設立
  - 1957年 TV「ミユキ野球教室」放送開始
  - 1998年 複合ショッピングセンター「ミユキモール」オープン
  - 2009年 ミユキビジネスパーク稼働
  - 2025年 創業120周年



#### デジタル化推進の背景

- 「忙しくてそんな余裕はありません」を無くしたい！

1905年の創業以来、当社はテキスタイルからアパレルまでの一貫生産で常に最高のものづくりを目指しております。品質に対するこだわりはものづくりの伝統を受け継ぎ守るという精神から、ややもすると従来からの仕事のやり方を変えることなく現状維持バイアスの心理作用が業務処理においても働いてしまうことがあります

受け継がれた伝統を基本に、「新たな価値」を創造するための足掛かりとして、変化を恐れないイノベーションの精神の浸透を業務処理の現場においてもデジタル化を通じて目指します

#### 導入ツール



- ロボットにより、ルーチン業務を自動化するRPAソフトである「UiPath」を使用
- 手入力で行っている、送付状の作成・発行やの基幹システムからのcsv出力・統合・加工をRPAで自動化し効率化を図った

※「UiPath」はUiPath株式会社の登録商標です

# 『RPAって何？ リゾット、ペペロンチーノ、アラビヤータ？？？』 『五十の手習い、まずはやってみよう！』

## 御幸毛織株式会社 実証結果【2/5】

### モデル実証を通じて解決を目指した課題

#### 送り状の自動発行

- 基幹システムから出力される出荷指図書に記載された情報を物流会社の送り状発行システムに手入力することにより送り状を作成・発行しているが、この一連の作業をRPAツールを使用し、送り状を自動発行できるようにする

#### 品切表の作成時間の短縮

- 異なる2つの基幹システムから在庫明細を手作業によりcsv出力・統合・加工しているが、これらの一連の作業をRPAツールを使用し、品切表を短時間でミスなく自動作成できるようにする

### 課題解決に向けた取組内容

#### 3つのシステム・ソフトをUiPathでコントロール

- UiPathにより基幹システムを起動、出荷指図データをアウトプット、出荷先IDを抽出する（UiPath、基幹システム）
- 抽出された出荷先IDをもとに出荷先データベースを参照することで、出荷先電話番号を引用する仕様で試作したが、出荷先と電話番号が一对一の前提に対し、前提から外れるデータがあったため、Web送り状発行システムの出荷先マスターの見出しを出荷先IDと対になるよう4桁に修正、基幹システムから抽出された桁数がまちまちの出荷先IDも4桁になるよう自動演算（Excel）
- UiPathにより物流会社のWeb送り状発行システムを起動し、4桁の出荷先IDを入力することで誤認識なく送り状発行までの準備が整う

（基幹システムとWeb送り状発行システム、Excelの複数のシステム・ソフトの連動をRPAでプログラム化することが実現のためのハードル）

#### 品切表

- UiPathにより、2つの基幹システムを起動、各々から在庫データをアウトプットする（UiPath、基幹システム）
- Excelのマクロ機能を使用し、品切表の更新を行う（Excel）
- UiPathにより更新済み品切表をPDF化し、関係者にメール配信する

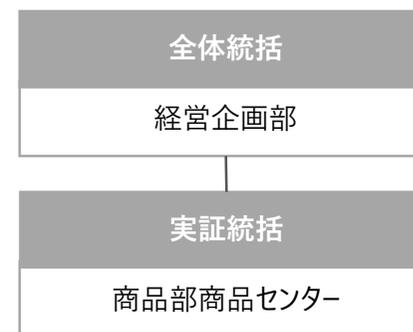
# 『輪廻転生 … 属人化の排除、そして新たな属人化？？？』 『現場 VS システム部門？？？』

## 御幸毛織株式会社 実証結果【3/5】

### 実証時に感じた壁および克服のためのアクション

- 今回活用したRPAツールでどこまでのことができるのかという知識がなかった  
⇒ チュートリアル、書籍、Youtube、ネット検索である程度情報入手できたが、チュートリアル以外は過去のバージョンのものがほとんどで使用感に違いがあり理解するのに時間を要した。  
結果、試行錯誤することで一定の知識は得られたが、得られた知識を他のメンバーと共有すると、全員のレベルが合っている前提でないと難しく、ここで新たな属人化が生まれる恐れを感じた  
⇒ プログラム化をサポートする伴走者が必要
- エラーや不具合の原因の特定が難しい  
⇒ 操作ログを見てもどこでエラーが起きたのか、どうすれば解消できるのかが素人には難解だと感じた。エクセルなどの一般的なアプリ使用やウィンドウ操作時の困りごとはネット検索すれば何らかのヒントが見つかるが、自社システムが絡むと、システム部門の手を煩わせることとなる  
⇒ ユーザー部門での推進者育成が必要

### 実証体制



- 経営企画部主導の下、物流部門である商品部商品センターのRPAに全く無知であったアラフィフ三人衆が、RPA経験者の完全監修により実証実践

### 取組の成果

- 送り状の自動発行は、普段20分程度かかる作業を5分程度に短縮できるようになった  
⇒ 毎日1回実行するため約60時間/年の工数削減実現
- 品切れ表作成については、まだ完成はしていないが、30分程度かかる作業時間を5分程度に短縮できる見込み  
⇒ 週に2回実行するため約40時間/年の工数削減の見込み

# 『RPAによりアナログ作業のデジタル化を実現！！』

## 御幸毛織株式会社 実証結果【4/5】

基幹システム



出荷指示エフに印字された出荷先  
を目視で読み取り

欄番	出荷予定日	オーダーNo.
出 荷 指 示 エ フ	YA22 210215	N-00044825-11
	ピ-スNo. 186006	品番 YKK3010
	柄 50AA	
	3リ カット	疵引 倉庫数
	52.40 52.40	0.00
	在庫 印刷済 売約	反番
	52.40 0.00 0.00	044732
	オーダー日 210212 10:20	織ネム
	得意先 株式会社ユナイテッドアローズ	
	1740621	
	出荷先 中日本倉庫 一宮営業所	



運送会社送り状発行ソフト



Before

総作業時間：20分 目視読み取りによる誤送の発生

基幹システム



エクセルで必要データ抽出

行	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	元データ	品番	出荷先	出荷先	件数	ヤマト	14					出荷コード	電話番号
2	2137	2137	対客外	**	1191	3	14					1191	06-5623-4
3			対客外		1013	3						1013	011-621-1
4			対客外		1001	8						1001	052-509-1
5			対客外			0							
6			対客外			0							
7			対客外			0							
8	73	73	対客外			0							
9			対客外			0							
10			対客外			0							
11			対客外			0							
12			対客外			0							
13			対客外			0							
14	1191	1191	対客外		1191	0							
15	113	113	対客外		1013	0							
16	2137	2137	対客外			0							



運送会社送り状発行ソフト



After

総作業時間：5分 作業の自動化により作業時間削減・エラー撲滅

# 『RPAは万能じゃない』 『現場まかせでは前に進まない』

## 御幸毛織株式会社 実証結果【5/5】

### 今後の課題・目標

#### 課題

- システム部門以外でRPAのトレーニング、プログラム化を推進、サポートできる「現場伴走者」の育成が課題
- ただし、「伴走者」任せにはしない現場のレベルアップが必要
- RPA導入は業務効率化による人員の合理化が目的ではなく、削減した作業時間は、現場が「新たな価値」を創造する時間に充当することが課題

#### 目標

- 今回の成功体験を機会に他部門への水平展開に着手したい。
- RPAでなければできないこと、Excelのマクロでできることを見極め効率の良い業務改善を行いたい
- 業務多忙なシステム部門に頼ることなくユーザー部門でRPAを推進できるようにしたい
- 普段、業務フローについて意識することがなかったアラフィフ3人衆が各々の業務プロセスを話し合い、見直すきっかけとなったので、次世代への垂直展開も行いたい

### (デジタル化を推進する他企業への) メッセージ

- デジタルツールはVUCAの時代の必須アイテム
- DXで業務改善⇒意識変革⇒業務改革
- DXの推進のためには
  - ・景色合わせをする
    - 何のために進めるのか
    - 進めた先にどんな風景があるのか
    - ステークホルダーにどんなメリットがあるのか
  - ・現場任せにしない
  - ・小さくスタートする
  - ・経営層が参画する